



2021年2月4日

各 位

会 社 名 株式会社クスリのアオキホールディングス
代表者名 代表取締役社長 青木 宏憲
(コード番号 3549 東証第一部)
問合せ先 取締役管理部門担当 八幡 亮一
(T E L 076-274-6115)

有限会社サン・フラワー・マリヤマの吸収合併に関するお知らせ

当社は、2021年2月4日開催の取締役会において、以下のとおり、当社子会社である株式会社クスリのアオキ（以下「クスリのアオキ」といいます。）が有限会社サン・フラワー・マリヤマを2021年5月21日付で吸収合併（以下「本合併」といい、本合併に係る契約を「本合併契約」といいます。）することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 合併の目的

当社は、「健康と美と衛生」を通じての社会貢献を経営理念とし、ドラッグストア及び調剤薬局の運営を行っております。子会社のクスリのアオキは、北陸・信越、東海・近畿、関東・東北の21府県にドラッグストア666店舗（内調剤薬局併設346店舗）、専門調剤薬局6店舗の合計672店舗を展開しております。利便性と専門性の強化をコンセプトとし、食品の販売も強化をしており、大型店においては生鮮三品の取り扱いもしております。

有限会社サン・フラワー・マリヤマ（以下「サン・フラワー」といいます。）は、1991年5月に設立され、石川県能登地方に食品スーパーを2店舗展開し、設立以来地域に暮らすお客様に支持され続けている企業です。

この度、サン・フラワーを当社グループに迎えることにより、食品スーパーの持つ新鮮な食材の品揃えとドラッグストアの持つヘルス&ビューティーや日用品の品揃え、また処方箋を取り扱う調剤薬局を組み合わせることで、地域のお客様にとってより一層ご愛顧いただける店舗を作ることができると判断し、クスリのアオキと合併することといたしました。サン・フラワーの店舗は、お互いの強みを生かした、さらにお買い物のしやすい店舗への改装計画を策定し、今後進めていく予定です。

本合併により、当社グループの北陸地区におけるドミナントを強化することで、今後、当社グループの一層の企業価値向上に努めてまいります。

2. 合併の要旨

(1) 合併の日程

合併決議取締役会（当社及びクスリのアオキ）	2021年2月4日
合併契約締結日	2021年2月4日
合併決議株主総会（サン・フラワー及びクスリのアオキ）	2021年2月25日
合併予定日（効力発生日）	2021年5月21日

(2) 合併の方式

当社を存続会社とする吸収合併方式であり、消滅会社であるサン・フラワーは解散します。

(3) 合併に係る割当ての内容

本合併契約の定めに従って、本合併の効力発生日前日の最終のサン・フラワーの株主名簿に記載又は記録されたサン・フラワーの株主の皆様に対して、現金を割当交付します。吸収合併対価については、契約により非開示としておりますが、第三者による株式価値の算定結果を勘案して決定しております。

3. 合併当事会社の概要（2021年2月4日現在）

	吸収合併存続会社	吸収合併消滅会社
(1) 名称	株式会社クスリのアオキ	有限会社サン・フラワー・マリヤマ
(2) 所在地	白山市松本町2512番地	輪島市門前町道下24-46-6
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 青木 宏憲	代表取締役社長 鞠山 紀雄
(4) 事業内容	医薬品・化粧品・日用雑貨などの 近隣型小売業、調剤業務等	1. 生鮮食料品、加工食料品、 冷凍食料品の製造及び販売 2. 清涼飲料水の販売 3. 台所用品、日用雑貨品の販売 4. 前各号に附帯する一切の業務
(5) 資本金	300百万円	5百万円
(6) 設立年月日	1985年1月	1991年5月
(7) 発行済株式数	9,737,560株	100株
(8) 決算期	5月20日	12月31日
(9) 大株主及び持ち株比率	・株式会社クスリのアオキホールディングス 100.0%	・鞠山 紀雄 26.0% ・鞠山 外志夫 62.0% ・鞠山 好子 12.0%

直前事業年度の財政状態及び経営成績

	株式会社クスリのアオキ	有限会社サン・フラワー・マリヤマ
決算期	2020年度5月期	2019年度12月期
純資産合計	40,206百万円	37百万円
総資産	170,206百万円	112百万円
1株当たり純資産(円)	4,129.01円	370,526.70円
売上高	300,173百万円	647百万円
営業利益	14,192百万円	△1百万円
経常利益	14,534百万円	2百万円
当期純利益	10,835百万円	2百万円
1株当たり当期純利益(円)	1,112.78円	17,315.30円

4. 合併後の状況

本合併における、当社及びクスリのアオキの商号、所在地、代表者の役職・氏名、事業内容、資本金及び決算期についての変更はありません。

5. 今後の見通し

本合併が当社連結業績に与える影響は軽微です。

以上